

木質バイオマスエネルギー利活用検討委員会、現職市議の発言

H24年11月5日

市議：6割の用材を出す分しか日当（2千円程度？）は出せない。後の4割を出しても日当はまわらない。小さい山に高性能機械を入れられないのでコスト減が図れない。（林地残材の）量があってもうまく活用ができない。後の4割を出すのであれば、作業班に行政の助成が必要。4割を捨てるのがもったいないという理由だけで搬出するのであれば生活が成り立たない。行政と一体となって出せる環境整備をどうするか？民の努力ではどうしようもない。

H25年1月29日

市議：丸太を持っていくことだけを議論すべき。難しく考えすぎている。素材生産者に赤字が出るのであれば、霧島市が補填補助を行えばよいのでは。

市議：3森林組合は加入するのでは？どちらにせよ急がなければならない。国と密に連携を取ってぜひ成功を。鹿児島県は森林環境税の徴収している。行政の大きな支援を期待したい。

補助金が無いと燃料が集まらないとの見解です。